

よいことの
ために
手を取りあおう



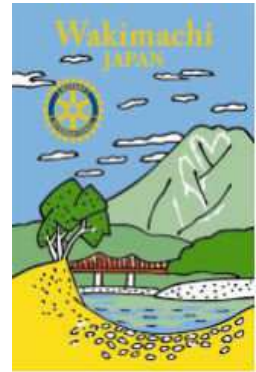
脇町ロータリークラブ

第2670地区

徳島第2分区 脇町ロータリークラブ

2026年 5月 14日 (木)

第44回例会 No.2974



会員総数:39名 出席人数:21名 修正出席者:22名 修正出席率:56.4%

◎メイクアップ

5/12 鴨島RC例会 藤原義浩会員

◎会長挨拶

脇町RC

須藤会長

環境問題に取り組む国際的な催し、「アースデイ」のイベントが、5月9日と10日の2日間、徳島県吉野川市で開かれました。この催しは、4月22日の「アースデイ」に合わせ、地球環境問題に取り組もうと世界各地で開かれていて、山川町の川田八幡神社で5月9日と10日の2日間、開かれました。私もお手伝いをさせていただいておりましてイベントに参加してきました。「1000年先の未来につなぐ森の文明」をテーマに、様々な催しがありましたし飲食など50店舗が参加しておりました。催しとして音楽ライブまた巨木をめぐるツアースタンプラリーなどありました。また東京オリンピックのエンブレムを手掛けた野老（ところ）朝雄さんを招いて、藍染の阿波和紙を用いた折り鶴のワークショップが開かれました。ところ折というのだそうですが途中から複雑な折型になるので難しかったです（家内に折ってもらいました）自然との共生や環境負荷の少ない暮らし方に思いを巡らせるそんな穏やかな時間の流れる素敵な取り組みでした。本日も有意義な例会となりますようよろしくお願いいたします。

◎幹事報告

遠藤副幹事

到着週報

美馬RC 阿波池田RC 洲本RC

到着書類

インターアクト会長幹事会のご案内

報告事項

5/28 (木) 移動例会 ゆうゆう館
6/12 (金) 家庭例会を計画中です

連絡事項

◎委員会報告

ゴルフ部

河合会員

5/31 県下ゴルフ大会

6/14 5クラブ親善ゴルフ大会

ゴルフ部会費 半期 15,000円×2 = 30,000円 に変更

卓話

藤原武志会員

毎日が日曜日の藤原でございます。5月は特に忙しい月となりました。ゴールデンウィークには大阪から孫が帰省し、1週間ほど一緒に過ごしました。買い物や讃岐の「子供の国」への遠出など、疲労困憊の毎日でしたが、家に帰れば「遊んで」の連呼。5歳と1歳の2人の孫を相手に奮闘しました。上の孫には「臭い」と加齢臭をずばり指摘されまして、正直すぎる言葉に思わず腹も立ちましたが、連休最後の日に無事帰ってくれてほっとしました。孫が帰ってからも、河合会員と和歌山への1泊2日、次いで高知へ1泊2日のゴルフ旅行と、休む間もない日々が続きました。今日明日が終わると、初めてのクルーズ船に乗船します。東京に前泊し、1週間のクルーズを楽しんだ後、さらに山梨へ4泊5日の旅を予定しています。無職なのに今月はこれだけのスケジュールをこなしており、皆さんが働いておられる間、存分に遊ばせていただいております。

実は3月に、スペインのサグラダ・ファミリア（アントニオ・ガウディ設計。約200年の歳月をかけてようやく完成した世界的建築）を見に行く計画を立てておりました。カタル航空でドーハ経由の旅程でしたが、1月27日にアメリカとイスラエルがイランへ空爆を行い戦争が始まり、飛行機が運航停止となったためキャンセルに。続く4月には南イタリアへ14日間の旅を予定していましたが、こちらも同様の事情でキャンセルとなりました。本日はスペインや南イタリアで撮影した写真や動画をプロジェクターで披露しようと準備していたのですが、材料がなくなってしまい大変失礼しました。そこで、先週の南会員の発表に倣い、ChatGPTを活用して今日の卓話をまとめてまいりました。

来週月曜日に、1年半待ち続けたポルシェ911がいよいよ納車となります。保険は、家と車2台合わせると100万円を超えますが、車両保険なしでぶつけたら何百万もかかりますので、安心料として加入しております。

以前所有したフェラーリより馬力は少ないものの、格段に乗りやすい点が魅力です。ただし、こうした性能をサーキット以外で発揮する場面はまずありません。

「何のために買ったんや」という話ではございますが。

2025年度のポルシェの業績は大きく悪化しています。主な要因は以下の通りです。

- ・ 中国市場での販売不振
- ・ EV（電気自動車）シフトへの対応コスト増大
- ・ トランプ政権によるアメリカの関税政策の影響
- ・ もともとの高コスト体質

販売台数は2024年度の31万台から2025年度には28万台へ約1割減少し、営業利益は前年比93%減という厳しい状況です。EVスポーツカー「タイカン」は走行性能こそ優秀ですが、高速走行時の航続距離の短さが課題となっています。中古（3年落ち）は新車価格の3分の1程度まで下がっており、コストパフォーマンスは抜群ですが、嫁との仲が悪くなるので私は買いません。

2025年度・世界自動車メーカー販売ランキング

- ・ 1位 トヨタ：年間1,050万台（売上高約50兆円・利益3.8兆円）
- ・ 2位 フォルクスワーゲングループ（VW・アウディ・ポルシェ・ランボルギーニ等）

- ・3位 ヒュンダイ（韓国）
- ・4位 ゼネラルモーターズ（米国）
- ・5位 ステランティス（フィアット・ジープ・クライスラー・プジョー等14社連合）
- ・6位 BYD（中国）
- ・7位 フォード（米国）
- ・9位 ホンダ
- ・10位 スズキ

トヨタは圧倒的な1位ですが、関税問題等で株価は下落しています。ホンダはBMWとの共同開発EVを一時計画していましたが、開発中止を決定。その際の設備・特許等の除却損として約2兆円の赤字を計上しています。

トヨタの全固体電池と電気自動車の未来

トヨタは出光興産との共同開発による全固体電池を搭載したEVを、2028年度に発売すると発表しました。現在主流のリチウムイオン電池（液体）と比べた際の特徴を整理します。

メリット

- ・超高速充電：約10分で80%（現行テスラ・スーパーチャージャーは約30分）
- ・航続距離1,000km以上（現行は600～800km程度）
- ・小型・軽量

デメリット

- ・製造コストが高い
- ・温度管理などの制御が難しい
- ・現時点では大量生産が困難

私自身も3年前に電気自動車を購入しましたが、メーカー発表500kmの航続距離が、高速走行では250km、150km/hを出すと200km程度まで落ちます。また、高速道路のチャージャーで30分充電しても約78km分しか回復せず、複数台が並んでいると電流も落ちてさらに充電効率が下がるのが現状です。

全固体電池が実用化されれば、これらの課題が大きく改善されます。あと10年もすると私も自分で運転するのが難しくなる年代に差し掛かりますので、石油に頼らない安全で快適な乗り物の実現を大いに期待しております。

おわりに

資産をタンスの中に眠らせておいても増えません。ぜひ証券会社にご相談いただき、資産運用をご検討ください。また、電気自動車や新しい乗り物にご興味のある方は、いつでもお声がけください。お試乗車のご用命も随時承ります。本日はお時間をいただきありがとうございました。

◎ニコニコボックス

橋本会員 六車会員

◎次回例会

2026年 5月 21日（木） 12：30 ～ 清月屋敷

◎ 次回プログラム

☆ 次の会員は例会欠席でした。

足谷会員・遠藤会員・小笠会員・小野会員・加島会員・兼西会員・上柿会員・河野会員
木下会員・香西会員・武田会員・友成会員・中平会員・西村会員・秦会員・三谷会員
山本会員・吉野会員

☆ 次回例会の出欠を 佐藤直樹出席委員長まで連絡してください。